# アの居場所 ~まちの縁側をさがそ

#### 居場所で繋がる地域とわたし

2019年7月下旬、真夏の日差しが眩しい大 町市の木崎湖周辺をまち歩きするグループが。 「まちの縁側講座inおおまち平」参加者の皆さ んです。

一日かけて開催された講座には33名の方が 参加されました。午前は県長寿社会開発セン ターのコーディネーターから、県内での「まち の縁側1の取組みとその思いを紹介してもら い、参加者はまちの縁側を見つける視点=「縁



側めがね(通称)」を身につけ、午後からはまち歩きにいざ出発です。

いつも車で通りすぎてしまう地域には、ゆっくり歩くと沢山の発見がありました。犬をたくさん飼ってい る家でのふれあい、利用者が減りあまり使われなくなった公民館の茶室、木陰にテーブルとベンチがある湖 畔のカフェ、地域の植物を使った草木染製品を販売するグループ、森林の機材や木材などなど…地域にはま ちの縁側となる資源がたくさん眠っていることが分かりました。

# まちの縁側って?

みなさんは「まちの縁側」と聞いてどんな場所 を想像しますか? どんな場所だったら行ってみ たいと思いますか?

まちの縁側とはヒト・モノ・コトがゆるやかに つながる、私たちと地域を繋ぐ潤滑油のような場 です。異なる個性が集まることで地域の問題を解 決していく可能性がある場でもあります。





#### シニアの皆さんにとっての「居場所」とは何でしょう?

- ここに居ていい場所、ここに来れる場所 = **安 心** 感
- ●自分らしく居られる場所 = 自己実現 この気持ちが満たされると

「この地域に居たい、住みたい」という思いが生まれる 地域にも個人にも大切なことは、~地域の住みやすさ~ これらの要素を満たすことができる手段の一つが「居場所」 ではないでしょうか。



#### 長野県総合5カ年計画「しあわせ信州創造プラン 2.0」

「県民の学びと自治の力による誰にも居場所と出番がある県づくり」を目指しています。

北アルプスのふもと…この地域における「シニアの居場所」の一例をご紹介します。

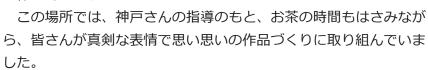
# ~空き店舗がコミュニティースペースに~

#### 『ゆい・せきや』 大町市仁科町(信濃大町駅前)

駅前の商店街の一角。ガラス越しに和風のハンド バッグや小物入れ等素敵な工芸品が並び、その内側 の大きなテーブルを囲んだ皆さんが、ダンボール紙 に定規を当ててカッターを入れたり、ザルに和紙を のり付けするなど、創作活動に打ち込んでいます。

ここは、かつて薬局だった建物。約6年間閉められていましたが、経営されていた神戸さんご夫妻が、令和元年に再開、ものづくりの教室に変わり、牛乳パックや包装紙など身近な材料を使い、センスの良

い小物入れやお盆 を作っています。



希望される方は、事前に申込みすればいつでも参加できます。



# ~見守りのリレーで繋がる地域~

#### 『こどもふれあい番所』 小谷村塩水 (R148号沿い)

国道148号線の「塩水」のバス停近くに、三角屋根をのせたかわいらしい建物が建っています。この建物は2代目『こどもふれあい番所』というボランティアの詰め所です。

学校がある日の朝は7時前に当番が集まります。

そして、バスを降りて1km先の小・中学校まで歩いて登校する子ども達を1時間ほど見守ります。

他県で、子どもをめぐる事件が起こった平成17年、地域の3名のシニアが、子どもの安全を守るために見守りをしようと考えたことがきっかけで活動が始まりました。



当時の小谷村は小学



校の統廃合があり、村中の子どもたちが1つの学校へ通学するようになった時期で、安全確保の必要性が高まっていたとメンバーの方は振り返ります。ボランティア活動に行政、学校、警察が協力や応援する体制が築かれました。

この日はまだ新学期が始まったばかり。「おはよう」、「いってらっしゃい」の声掛けに、それぞれの子の反応が微笑ましく感じられました。

# ~コーヒーでの居場所づくり~

#### 『80cafe』 池田町・シェアベースにぎわい

鮮やかな手つきでドリッパーにお湯が注がれると、ジュワーという音とともにフラスコにコーヒーが落ち、同時に挽きたての豆の香りがあたり一面に広がっていきます。

ここは、池田町の中心商店街に町が2018年に建設したシェアベースにぎわい。この中で、青木邦夫さんがオープンしたのが「80cafe(エイティーカフェ)」。80歳になった年でした。デザイナーとして広告や企画に携わってきたアイデアマン。以前から



「年を取ったらカフェをやろう!誰かと話すことを大切にしよう」とアイデアを温めてきました。



持ち帰りもできるこのコーヒーショップでは、すべて 自分でデザインしたお店のチラシやマグカップにセンス がキラリと光ります。

「思い立った時にふらっと立ち寄ってコーヒーを飲める場になれば」、「夜は、お酒も出せて、音楽も楽しめたらいいな」と話してくださいました。アイデアは尽きることがありません。

何か元気になる暖かな空間でした。

### ~地域の支えを次の世代に~

#### 『ゆずり葉の会』 大町市 常盤 上一

年の瀬の連日、公民館の調理室では、朝からエプロンにマスク、手袋をした約20名の皆さんがあわただしく調理をしています。仕上げの日、テーブルには、色とりどりの食材がきれいに入った100個近い折詰が迫力満点で、出番を待っていました。

平成初期からこの地区で続けられている「ゆずり葉の会のおせち」は、心待ちにしている一人暮らしの方々に届けられます。年に数回開催される交流会では、昔から大切にされ受け継がれてきた年中行事である七夕おやきやお彼岸



のおはぎを地域の年配の方に振るまい、一緒に味わってきました。



美味しい食事会のあとは、楽しいレクレーション。地域のつながりから、様々なゲストによるお話や演奏で、会場は笑いや拍手に包まれます。

メンバーの思いは、「住んで良かったと思えるような地域にしよう」。 活動の担い手は、徐々に次の世代に受け継がれています。

♠ゆずり葉とは、"古い葉の命を新しい葉につなぐ" 柏の木の葉の別名です。

# 大北地域タウンミーティング2019

# ~出会いのひろば。シニアの居場所を語ろう~

令和元年11月6日 大町市平公民館

高齢者の社会参加のきっかけづくりのため、「大北地域タウンミーティング2019」を開催し、地域づくりの活動など活躍の場を求めるシニアと、シニアの活躍を期待する団体の皆さん総勢140名が一堂に会し、交流を深めるとともに、シニアの居場所について議論しました。

どんな居場所なら自分らしく居られるだろう? 居場所に来る人の希望を叶えられるヒントは? 過ごしやすくて活躍できそうな、これからの居場所づくりの工夫をシニアの視点を交えて話し合いました。







# シニアの皆さん

何かを始めたい! 知識や経験を活かしたい! ここで過ごしたい♬



# シニアの力を求める皆さん

知識や経験を 活かしてほしい。 一緒に過ごす仲間に なってほしい。





居場所づくり、

づくり、橋渡しのお手伝いをします!

長野県大町保健福祉事務所(福祉課)/長野県長寿社会開発センター大北支部 〒399-8602 長野県大町市大町1058-2 長野県大町合同庁舎内 令和元年度シニアの居場所づくり事業 [地域振興推進事業] TEL:0261-23-6507 FAX:0261-23-6509 E-mail:omachiho-fukushi@pref.nagano.lg.jp